

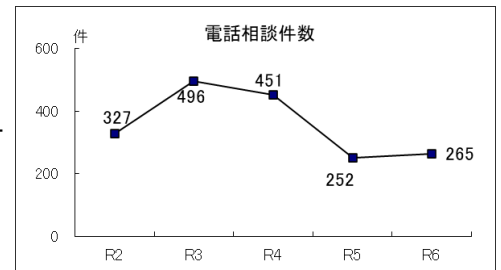
第2 地域福祉

1 住民主体の相談活動

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	電話相談	歳			

結果の概要

- 電話の匿名性により、こころの悩みや生活不安等の訴えを傾聴し、相談者に寄り添う形で対応した。
- 相談員会議を毎月1回開催し、情報共有及び対応方法の検討を行った。



実績等

<事業実績>

相談日	月曜日・水曜日・金曜日（祝日・休日を除く） 13時から16時まで
相談方法	相談専用ダイヤルによる電話受付
相談員	1人で担当（5人の交代制）
相談日数	146日
相談件数	265件
相談員会議	12回

<相談内容>

内容	件数	内容	件数	内容	件数	内容	件数	内容	件数
生計	0	年金	0	職業、生業	1	住宅	0	家族	9
結婚	0	離婚	0	健康、衛生	1	医療	0	精神保健	228
人権、法律	2	財産	0	事故	0	児童福祉	0	母子保健	0
教育、青少年			0	母子、父子福祉	0	高齢者福祉	14	苦情	1
心身障害児（者）福祉			0	ボランティア	0	その他	9		

※相談内容は、一回の相談で複数の相談内容がある場合があるため、一部重複あり。

分析・課題

- 継続相談者（226件）が全体の9割近くで、精神保健の相談が主であった。新規相談（41件）は高齢の親についての「高齢者福祉」の相談が多かった。
- 事業開始当初と比べ多種多様な相談支援機関が増加している等状況に鑑みて、電話相談員と協議のうえ、令和6年度の10月から相談日を月曜日・水曜日・金曜日の週3日に変更した。その結果、令和4年度以前と相談件数に差が生じている。
- 精神保健に関わる専門的な相談内容が多く、対応する電話相談員が悩みながらも丁寧に対応している。引き続き、電話相談員へのメンタルヘルスケアのための研修や相談できる場づくりを進めていく。

番号	事業名	財源			
		自主 歳	補助	委託	事業
(2)	ふれあい福祉相談				

結果の概要

- 令和5年度と同様、令和6年度も2拠点での実施を継続した。
- 5人の相談員が交代制で担当し、生活の『困りごと』や『悩みごと』等だけでなく、日常の何気ない会話ができるような話しやすい環境をつくり、聞き取るように努めた。
- 利用者はコロナ禍以降減少したままであり、相談も0件が続いている。相談員とも今後の事業の在り方について検討した結果、事業開始当初に比べて新たな相談窓口が設置・充実され住民が相談しやすい環境が整ったこと、また常設の居場所及びサロン活動等交流の場が増加してことから、令和7年7月31日をもって事業を終了することとした。

実績等

- 令和5年度と同様、実施時間の短縮を継続し13時までとした。
- 利用者数と内訳

名称	相談場所	相談日	相談員	実績
菊野台	菊野台地域福祉センター 菊野台コーナー	水曜日 (祝祭日を除く) 10時～13時	各コーナー 1人担当 5人交代制	45回実施
西部	西部地域福祉センター 西部コーナー	月曜日 (祝祭日、第4を除く) 10時～13時		24回実施
	菊野台	西部		合計 69回
相談	0件	0件		① 0件
話し相手	194件	175件		② 369件
血圧	89件	152件		③ 241件
				① + ② + ③ = 610件

2 住民主体の交流活動

番号	事業名	財源			
		自主 歳	補助 市	委託	事業
(1)	ひだまりサロン事業				

結果の概要

- サロンの立ち上げ・解散
 - ・新規立ち上げ：6サロン
 - ・解散：7サロン
 - ・令和7年3月31日時点の登録数：95サロン

※解散の主な要因は、スタッフ・参加者の高齢化による継続困難が挙げられる。

○スタッフ体制と支援者の連携

- ・約 566 人がサロンスタッフとして活動に参加。
- ・ひだまりサロン応援スタッフが1人増員した。
- ・ひだまりサロン応援スタッフ、地域支え合い推進員、地域福祉コーディネーター、ボランティアコーディネーターが連携し、サロン立ち上げ支援を実施。

○全体交流会の開催

- ・10月に、サロン代表者によるシンポジウムと福祉圏域別の意見交換会を開催した。
- ・74人が参加し、活発な意見交換が行われた。

○その他の取組

- ・活動場所の変更や活動回数に関する相談に対応した。
- ・8月に「ひだまりサロン紹介冊子」を発行。
- ・事故防止及び適切な運用のため、助成金の交付方法を振込に変更した。
- ・台風等による中止判断基準を整理した。
- ・サロン活動中の事故に備え、保険周知を徹底した。
- ・「ひだまりサロン便り」にて情報発信（年3回発行）。
- ・ひだまりサロン事業要綱を改正し、運用及び書式を整理した。

実績等

○各グループ活動内容一覧（年度内に解散したサロン No. 1, 5, 11, 13, 14, 22, 31 を含む）

	サロン名	活動場所	活動内容	活動日、実績
1	サンルーム西華	西部地域福祉センター	茶話会	第2月曜日 6回開催 ※令和6年度解散
2	緑ヶ丘おしゃべりサロン	緑ヶ丘地域福祉センター	おしゃべり、体操、ピアノ伴奏に合わせた歌	第2火曜日 12回開催
3	国領ひだまり	調布市市民プラザあくろす	茶話会	第2、第4金曜日 20回開催
4	ゆたかサロン	ライオンズマンション1階談話室	茶話会	第1、第3火曜日 24回開催
5	多摩住口号棟ひだまり	多摩住口号棟集会室	食事、歌、相談	第3金曜日 4回開催※令和6年度解散
6	ひだまり入間	入間地域福祉センター	歌、体操、ぼけない君ビー玉	第3火曜日 10回開催
7	そよ風サロン	個人宅、調布住宅集会室	歌、体操、読書、学習会、ミニ音楽コンサート	第1月曜日、第4木曜日 24回開催
8	トラジ会	西東京南部同胞生活相談総合センター	食事、歌、体操、相談、軽スポーツ	第1木曜日、第3土曜日 22回開催
9	ひだまり菊野台	個人宅	茶話会	第4木曜日 9回開催
10	ふれあいランチ	シルバーピア調布染地集会室	食事、歌	第1、第4木曜日 19回開催

第1部 第2地域福祉

11	若葉三丁目ひだまり	個人宅	食事、歌、軽体操、読書会	第1、第3火曜日 24回開催 ※令和6年度解散
12	きさらぎサロン	たづくり みんなの広場	パッチワーク	第2水曜日 13回開催
13	緑ヶ丘一丁目自治会 グリーンサロン1	緑ヶ丘ふれあい給 食室	語らう会	第3木曜日 11回開催※令和6年度解散
14	アゼリアお茶の会	マンションアゼリ ア集会室	茶話会	第2、第4木曜日 23回開催※令和6年度解散
15	農園サロンののはな	西つつじヶ丘の畑	園芸	毎週火曜日 24回開催
16	飛田給ひだまり	西部ふれあいの家	歌、健康体操	第2木曜日 12回開催
17	農園サロンピーまん	西つつじヶ丘の畑	園芸	月2回土曜日 48回以上開催
18	調布ケアラーの会ク ローバー	調布市市民プラザ あくろす	家族介護者の集いの 場	第3木曜日 13回開催
19	緑ヶ丘健康麻雀サロ ン	緑ヶ丘地域福祉 センター	麻雀	毎週木曜日 48回以上開催
20	緑ヶ丘一丁目自治会 グリーンサロン2	緑ヶ丘ふれあい給 食室	歌	第2、第4木曜日 19回開催
21	野川芝桜の会	野川河川敷	芝桜の手入れ、野川清 掃	第2、4日曜日 23回開催
22	やよい会	下石原地域福祉 センター	カラオケ	第1木曜日 11回開催※令和6年度解散
23	緑ヶ丘2丁目あきら さん家	ほんのもり	茶話会、脳トレ	第3月曜日 ※活動休止中
24	アズランカ	個人宅	子育て、手芸、ワーク ショップ	第2、第4水曜日 21回開催
25	つどい場カフェ	個人宅	介護について話し合 う	第3月曜日 ※活動休止中
26	ひまわり	ネオコーポ調布 多摩川集会室	食事、体操、料理、麻 雀、手芸	第2水曜日、毎月末土曜日 24回開催
27	童謡を歌う会シンガ ーズ・グリーン	緑ヶ丘地域福祉 センター	歌	第2金曜日 15回開催
28	上布田大好き OG/OB会	上布田自治会館	食事、ものづくり、情 報交換	第1、第3月曜日 24回開催
29	染地ふれあいサロン	染地ふれあいの家	歌、体操、手芸、出前 講座	第3水曜日 14回開催

30	サロン木洩れ陽	こころの健康支援センター別館	食事、おしゃべり	第2金曜日、第3月曜日 18回開催
31	の～んびり茶の間	多摩川住宅口7号棟A・B・C集会室	食事、体操、歌	第1日曜日 5回開催※令和6年度解散
32	手話でひだまり in 富士見	調布市市民プラザあくろす	手話の勉強会	第4土曜日 7回開催
33	自主トレたんぽぽ	富士見地域福祉センター	体操	毎週木曜日 12回開催
34	なかま🌱町づくり	深大寺東第一自治会集会場	おしゃべり、作品づくり	毎週水曜日 第1、第3月曜日 48回以上開催
35	金子ひだまり	国領3丁目第2アパート集会所	輪投げ	毎週水曜日 48回開催
36	くすのき絆サロン	くすのきアパート集会室	水彩画、塗り絵、茶話会	第1、第3月曜日 24回開催
37	メイプルカフェ	メドウイン調布	介護について話し合う	第2、第4水曜日 24回開催
38	多摩川太陽グループ	下石原地域福祉センター	食事、体操、軽スポーツ	第2木曜日 10回開催
39	花カフェ	シェアサロンラリス そんぽの家S調布	茶話会	第1、第3火曜日 24回開催
40	みかん健康体操	ライフタウン国領多目的室	体操	月2～3回月曜日 30回開催
41	ボーノ・ボーノ	たづくり	体操	第1、第3火曜日 24回開催
42	くすのき健康麻雀サロン	くすのきアパート1号棟集会室	麻雀	毎週木曜日、 第1、第3土曜日 48回以上開催
43	若葉カフェ	東部公民館	おしゃべり、歌、ミニ勉強会、アトラクション（人形劇）	第3水曜日 11回開催
44	なごみ深大寺	深大寺地域福祉センター	ハーモニカ伴奏、折り紙	第4金曜日 12回開催
45	なんてったってクラシック	染地地域福祉センター	音楽鑑賞	第3水曜日 12回開催
46	わかくさサロン	都営八雲自治会館	茶話会、頭の体操、小物作り	第3土曜日 12回開催

第1部 第2地域福祉

47	ふじみ手芸とおしゃべりサロン	富士見地域福祉センター	手芸、おしゃべり	第2、4水曜日 22回開催
48	うたごえ喫茶 in 富士見	富士見地域福祉センター	おしゃべり、歌	第3土曜日 12回開催
49	オアシス深大寺	個人宅	手芸、茶話会、食事、 情報交換、出前講座	第1月曜日 10回開催
50	テラ多摩川サロン	フィットネス&カルチャースタジオ Terra	体操	第1、3火曜日 24回開催
51	サン歩会	個人宅	散歩、体操、園芸、軽 スポーツ	第1木曜日 12回開催
52	おひさまカフェ	個人宅	食事、相談、出前講座	第3金曜日 10回開催
53	くすのきひだまり	くすのきアパート 集会室	カラオケ、茶話会	第2、4月曜日 24回開催
54	早朝体操会	市役所前庭	健康体操、太極拳、茶 話会	土曜日を除く毎日等 48回以上開催
55	りはびり麻雀の会	染地地域福祉 センター	麻雀	毎週火曜日 48回以上開催
56	AMK ふれあいネット ワーク	朝日マンション国 領の諸施設	懇親会、同好会、各種 イベント	活動項目により様々 (毎週～1回/年) 48回以上開催
57	杜と光のサロン	アトラス調布、サレ ジオ児童遊園	おしゃべり、輪投げ	第2木曜日 ※令和6年度活動休止
58	エンジョイピンポン	富士見地域福祉 センター	ピンポン	毎週土曜日 48回以上開催
59	山野園芸サロン	神代の杜 園庭	園芸、清掃活動、特養 ホーム入所者との交 流	毎週火曜日 他 38回開催
60	ほっとカフェ談	西部地域福祉 センター	食事、体操、相談、朗 読	第3金曜日、 第5週目のいずれか開催 20回開催
61	談楽バードカフェ	富士見地域福祉 センター	川柳、ピンポン	第4火曜日 12回開催
62	ひだまりテニス	市民多摩川テニス コート	テニス	第2、4火曜日 18回開催
63	寿会	緑ヶ丘地域福祉 センター	近況報告、相談	第2金曜日 12回開催

64	友悠麻雀初心者 クラブ	緑ヶ丘地域福祉 センター	麻雀	第2月曜日、第3水曜日、 第4金曜日 36回開催
65	ズッキーニ	布田老人憩いの家 茶室	ペン習字、ウクレレ	第2、第4月曜日 18回開催
66	手話ダンスすずらん サロン	緑ヶ丘地域福祉 センター	手話ダンス	第1、第3木曜日 24回開催
67	ひだまりあみもの	ライフタウン国領 集会室	あみもの	第1、第3金曜日 24回開催
68	CoCo オアシス	調布市こころの健 康支援センター	ゲーム、音楽、おしゃ べり	第2土曜日、隔月第1土曜日 17回開催
69	みんなよってっ亭	くすのきアパート 4号棟集会室	懇談、歌	第2、第4火曜日 22回開催
70	ハッピーマニア	菊野台地域福祉 センター	子育て、ZUMBA	第3日曜日 12回開催
71	ひまわりテニス日曜 日クラブ	神代中学校テニス コート、深大寺テニ スコート、多摩川テ ニスコート	テニス、食事	第1火曜日、第1木曜日、 第2日曜日 24回開催
72	まちかどサロン	緑ヶ丘地域福祉 センター	食事、体操、朗読、紙 芝居	第3火曜日 12回開催
73	飛田給ひまわりの会	西部公民館	体操、折紙、工作、勉 強会、歌、交流会	月1回（曜日不定期） 11回開催
74	メリーゴーランド	たづくり	外国人との交流歓談	第1木曜日、第3火曜日 24回開催
75	三火会	野ヶ谷ふれあいの 家	歌、体操	第3火曜日 12回開催
76	みんなの体操サロン	西部地域福祉 センター	体操	第4木曜日 12回開催
77	子育てママランチう さくんち	個人宅	ママの食事、相談	第2火曜日、第3水曜日 17回開催
78	うたごえサロン金子 の里	国領3丁目第2アパ ート集会所	歌	第4木曜日 12回開催
79	2・4火曜会	深大寺こもれび	体操	第2、第4火曜日 23回開催
80	けやきぶんこ	西部地域福祉 センター	絵本、子育て	第2金曜日 11回開催

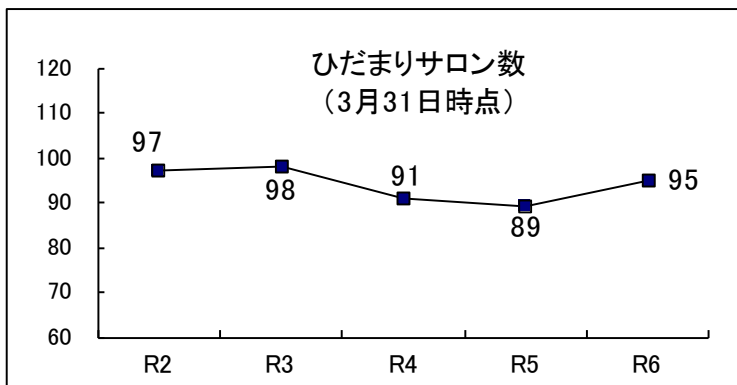
81	上石原ひだまり	上石原ふれあいの家	10 筋体操、歌、茶話会	第2、第4火曜日 23 回開催
82	めだかの学校	八雲台ふれあいの家	体操、茶話会	第1、第3火曜日 24 回開催
83	サロン・ド・わきあいあい	圓福寺	おしゃべり、工作、体操	第1、第3火曜日 24 回開催
84	サロンひかるげんじ	光源寺 香ホール	体操、講演会、講座 おしゃべり	第4木曜日 11 回開催
85	みんな DE ネットサロン	ノートルダム修道院「友愛の家」	パソコン、スマホに関する情報交換、茶話会	第3水曜日 11 回開催
86	かわせみ会	都営入間町2丁目 アパート集会室	10 筋体操、茶話会	毎週金曜日 43 回開催
87	スマホを楽しむ会	緑ヶ丘地域福祉センター	スマホ・ネットの活用、茶話会	第2、第3土曜日 24 回開催
88	スマイル	八雲台ふれあいの家	手芸、茶話会	第2水曜日 20 回開催
89	野川サロン	深大寺にぎわいの里 調布のやさい畑	茶話会	第3金曜日 14 回開催
90	歌の会よしだま	個人宅	歌、茶話会	第2、3月曜日 18 回開催 ※令和6年度新規立上げ
91	なかよし	緑ヶ丘地域福祉センター	麻雀	第2、4水曜日 18 回開催 ※令和6年度新規立上げ
92	調布サロコン	染地ふれあいの家	楽器鑑賞・演奏、茶話会	第3日曜日 6 回開催 ※令和6年度新規立上げ
93	いきいき脳トレ会	調布ヶ丘地域センター	麻雀	第2月曜日、第3土曜日 10 回開催 ※令和6年度新規立上げ
94	談話室ろじうら	談話室ろじうら	茶話会、ゲーム、麻雀	第2月曜日、第4木曜日 15 回開催 ※令和6年度新規立上げ
95	e 友シルバース	調布市市民プラザ あくろす	e スポーツ	第1月曜日 1 回開催 ※令和6年度新規立上げ

分析・課題

○令和5年度と同様、スタッフ・参加者の高齢化により、継続的な活動が困難となっているサロンが増えている。一方で、地域支え合い推進員、地域福祉コーディネーター及びボランティアコーディネーター等の連携により新規登録サロンも増えている。

○活動者への日頃の感謝と幅広い世代にひだまりサロンの活動を伝えるため、20周年企画について協議を開始した。令和7年度の開催に向け、サロン応援スタッフと引き続き準備を進めていく。

○高齢者の社会参加の場に関するアンケートの結果を踏まえ、地域住民の交流がより円滑にされるよう支援体制を構築していく。

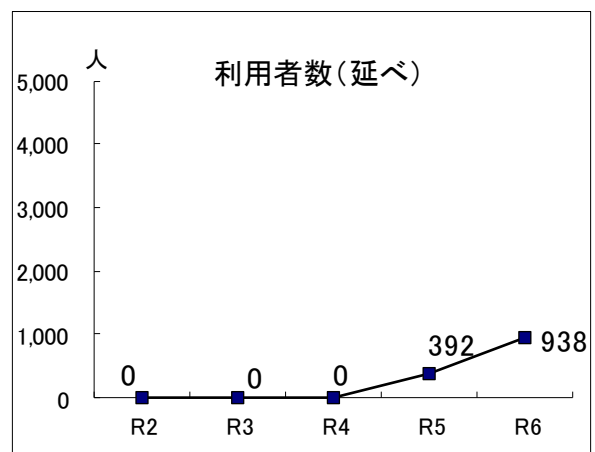


番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	高齢者会食サービス				○

結果の概要

○コロナ禍明けの活動再開から約1年が経ち、10拠点中4拠点が月2回、4拠点が月1回、ボランティアによる利用者への食事提供を行った。

○深大寺については活動可能なボランティアを確保できず再開できないまま活動終了となった。富士見については、利用者・ボランティアともに減少し活動困難となったため令和6年6月をもって活動終了とした。両拠点とも利用者については本人の意思および生活状況やサービス利用、地域とのつながり等を確認し、必要な方は他の見守りサービスへ移行した。



○金子では、ボランティア減少によりこれまで通りの対応が困難であったため、一部（おかずのみ）を業者による冷凍弁当で代替、一部を手作りで対応するという新たな形で再開した。

○月1回の活動となる拠点の利用者については、活動の代替として月1回職員が電話による安否確認を実施した。

○活動中の言動や安否確認の電話において様子が心配な方については、緊急連絡先となる家族や地域包括支援センター等の関係機関と連携し、対応した。

○食品衛生や食中毒についての知識習得・意識づけを行うこと、拠点同士の交流・情報交換を図ることを目的としてボランティアを対象とした勉強会を実施した。

○係の枠を超え、他事業のボランティア・協力員向け説明会等にも積極的に参加し、ボランティア募集の呼びかけを行った。

実績等

地域福祉センター	利用者数 (人)	実施曜日	会食実施回数	ボランティア数 (人)	安否確認 電話回数
菊野台	7	火	年間 24 回	6	0 回
下石原	10	水	年間 24 回	9	0 回
染地	14	水	年間 23 回	19	0 回
西部	5	木	年間 22 回	15	10 回
調布ヶ丘	7	木	年間 11 回	4	91 回
緑ヶ丘	11	木	年間 7 回	4	155 回
入間	13	金	年間 6 回	5	237 回
金子	5	金	年間 5 回	4	133 回
	計 72 人		計 122 回	計 66 人	計 626 回

※利用者数及びボランティア数は令和 7 年 3 月 31 日現在の人数

分析・課題

- 各拠点の状況やボランティアの方々の意向に沿った方法で事業を進めることができた。令和 7 年度以降もボランティアとコミュニケーションを図り、安全に、安定して事業継続できるようにしていきたい。
- ボランティアの高齢化はコロナ禍以前より長きにわたり課題になっており、安定した事業継続のため新たなボランティアの担い手を探すとともに、これまでの形にこだわらない方法、事業のあり方そのものを検討していく必要がある。
- ボランティアの不足により活動継続が難しい拠点の利用者については別事業の案内や地域資源の活用とともに、他係とも連携しながら見守りの目が途切れないよう配慮していきたい。
- 材料費と調味料代については前年度から引き続き 2 か月に 1 回出納日を設け精算する形で進めた。レシート・領収書の紛失やポイントカードの利用等、会計上のミスは数件起こったが、令和 5 年度と比べると少しずつ改善されてきた。ただし令和 7 年度も注意喚起は継続し会計処理を行なっていく。

番号	事業名	財源			
		自主 会費	補助	委託	事業 ○
(3)	小地域交流事業				○

- 第 6 次調布市地域福祉活動計画の各圏域の内容を踏まえつつ、過去の経緯をくみ取りながら実行委員会で実施内容を検討した。全拠点で通常開催もしくは通常に近い形での開催となり、別企画となるパート 2 の実施や新たなイベントを実施した拠点もあり、多くの方が来場し、盛況のうちに終了した。
- 世代間交流や地域とのつながりを広げていく一方、組織内においては人材育成の場として職員を配置した。各小地域の係長のマネージメントにより、職員間の役割分担や方向性のすり合わせ、会議でのファシリテート力などの職員育成を意識して取り組んだ。

実績等

地域福祉活動 計画圏域	地域名（会場）	事業名	内容（別企画含む）
	緑ヶ丘地域福祉センター	緑ヶ丘・仙川地域ふれ愛のつどい（パート 1）	11 月にパート 1、2 月にパート 2 を開催。パート 1 では約 500 人が来場。舞台発表や

緑ヶ丘・滝坂小		緑ヶ丘・仙川地域ふれ愛のつどい（パート2）	飲食ブースの出店、中学生ボランティアも加わり、幅広い世代が参加。パート2では「団体同士の交流」を目的に実施。団体の活動紹介や交流ゲームを行なった。
若葉・調和小	入間地域福祉センター	入間はつらつ地域まつり	7月に【若葉縁日】に参加。 また、5年ぶりの【入間はつらつ地域まつり】を開催。舞台発表をメインとし、ボッチャや工作、歩行測定等、子どもから高齢者まで約190人の幅広い世代が来場した。
	金子地域福祉センター	金子ふれあいまつり 金子バリアフリー映画体験会	6月に【ありがとうコンサート】、7月に【バリアフリー映画体験会】、11月に【金子ふれあいまつり】を開催。 金子ふれあいまつりには約250人が来場。舞台発表やボッチャコーナーなどの他にコロナ禍後初となる昼食販売を実施。
上ノ原・柏野小	菊野台地域福祉センター	菊野台地区地域のつどい	11月に開催。約325人が来場。伝統芸能やダブルダッチ、喫茶コーナーも人気を集め、多くの交流が生まれた。
	調布ヶ丘地域福祉センター	調布ヶ丘わくわく広場	11月に調布ヶ丘わくわく広場を開催。ジャズのミニコンサートや豚汁販売など令和6年度初めての企画もあり約250人が参加、盛況に終わった。別企画では地域を知る機会を作ることや新しい仲間を増やすことを目的として3月に【わくわくまちあるき】を開催。「地域を知ることができた、また参加したい」と前向きな声が集まった。
第二・八雲台・国領小	国領小学校	国領わいわいまつり	11月に開催。約800人が来場し、ステージ発表や飲食ブースの他、初めての試みとなるeスポーツ体験会を企画。子どもボランティアも参加人数が昨年から大幅に増加し盛況に終わった。
北ノ台・深大寺小	希望の家深大寺	ふれあいフェスタ北ノ台	2月に開催。約200人が来場。希望の家深大寺を会場とし、屋外ではステージと焚き火（焼きマシュマロ）を実施。5年ぶりの開催で規模は縮小したが地域の特性を活かした新しい形となった。
	深大寺小学校	深大寺ふれあいのつどい	6月に深大寺小学校を会場として5年ぶりに開催が実現。約450人が来場し、舞台発表やゲームコーナーを企画。以前よりも子どもやその保護者の参加が増え多世代が交流する場となった。

第一・富士見台・多摩川小	下石原地域福祉センター	下石原地区ふれあいのつどい	11月に開催。唯一の平日開催地域であるが、令和6年度は初めて近隣小学校の休校日に開催したことで、子どもの参加も多く約200人が来場。企画を考えるにあたり、児童館や子ども食堂にも運営協力をいただき、地域協力者の開拓にもつながった。
染地・杉森・布田小	こころの健康支援センター	布田わくわく広場まつり・地域のつどい	10月に開催。模擬店・舞台・作品展の三本柱で行ない、約900人が来場。舞台発表では利用者の作曲した歌を実行委員、利用者、参加団体が合唱するなど終始賑わい、盛況に終わった。
	染地地域福祉センター	そめちマルシェ(ボランティアまつり染地)	【そめちマルシェ】を5月に開催。約800人が来場、フリーマーケットや焼きそば販売、ベジメーター体験、ステージ発表などを行なった。第三中学校の学生やこころの健康支援センター利用者がボランティアとして参加し、多様な交流が生まれた。
第三・石原・飛田給小	富士見地域福祉センター	富士見ふれあいのつどい	11月に開催。舞台発表、模擬店、展示等を行い約300人が来場した。他地域のイベントや学校行事との重複もあり、去年と比べて参加人数は減少したが盛況に終えることができた。
	西部地域福祉センター	西部ふれあいのつどい	10月に開催。子どもから高齢者まで幅広い世代が舞台発表に参加、来場者数は約260人となった。

分析・課題

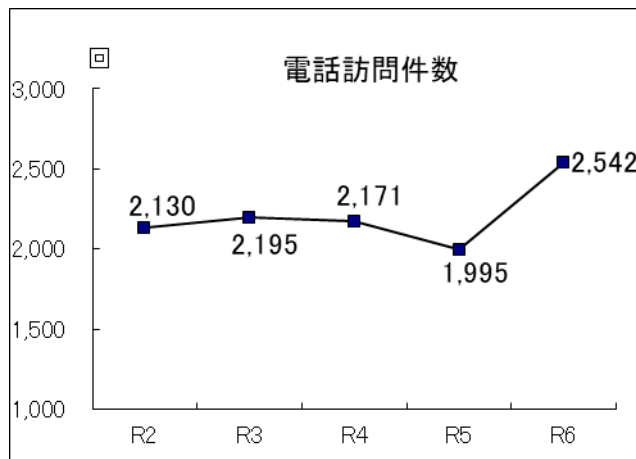
- 全体としてコロナ禍前の通常開催に戻っているが、内容については新たな企画を検討・導入する傾向が各拠点で見られている。
- これまでのつながりを維持しながらも、多くの地域で実行委員の高齢化が課題となっているため、若い世代や新たな担い手の発掘が必要である。
- 拠点の地域特性や工夫を凝らし、各地域の状況に合わせた取り組みを第6次調布市地域福祉活動計画を活用し実施していく。
- 部署を超えた人材育成の場として職員を配置することにより、職員の新たな活躍が期待でき、係長のマネジメント力の育成にもつながることから令和7年度以降も継続していく。
- ふくしの窓や市報等従来の広報媒体に加え、SNSも活用し、お祭りや地域の活動について広く周知していく。

3 住民主体の訪問活動

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	ほのぼの電話訪問		市		

結果の概要

- 電話訪問員 9 人が平日の午前中、利用者に電話を掛け安否確認を行うとともに、話をする事で孤独感の緩和を図った。
- 死亡や施設入所、他サービスとの重複等の理由で利用中止となった方は 16 人。
- 見守りあんしん訪問や高齢者会食からサービス移行があり、利用者数が増加した。
- 高齢者見守り事業（ふれあい給食、電話訪問、友愛訪問）に協力いただいているボランティアを対象とした合同研修会を実施。介護保険制度をテーマとして、電話訪問からも 7 人の訪問員が参加した。
- 訪問員の情報交換や事例検討・共有の場として実施している電話訪問員会議は当初予定通り全 5 回開催した。



実績等

○利用実績

月	利用者数(人)	訪問回数(回)	月	利用者数(人)	訪問回数(回)
4 月	54	196	10 月	60	245
5 月	56	217	11 月	61	225
6 月	58	200	12 月	59	205
7 月	59	234	1 月	57	197
8 月	59	237	2 月	54	184
9 月	59	218	3 月	53	184
		合計			689
					2542

※電話訪問員からの午前中の電話に回答がなく、午後から安否確認をした件数 176 件

○電話訪問員会議・研修

月 日	項目	内容
4 月 16 日	第 1 回電話訪問員会議	事務連絡、近況報告・事例検討
7 月 17 日	第 2 回電話訪問員会議	事務連絡、近況報告・事例検討
9 月 19 日	第 3 回電話訪問員会議	事務連絡、近況報告・事例検討
11 月 15 日	第 4 回電話訪問員会議	事務連絡、近況報告・事例検討
3 月 17 日	第 5 回電話訪問員会議	事務連絡、近況報告・事例検討

分析・課題

- 電話による非対面の訪問であることから安定的な安否確認が可能である。地域で必要な方にサービス

の情報が行き届くよう、民生委員をはじめとする関係者・機関との連携、広報の工夫が必要。

○電話訪問員の欠員が長らく続いていることや訪問員の高齢化も進んでいるため、安定した事業継続のためにも欠員の補充に努めるとともに次世代の担い手を探していく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	友愛訪問事業		市		

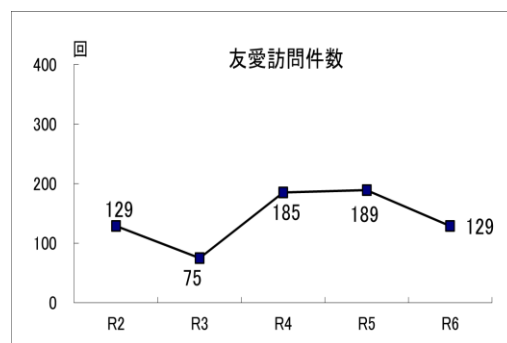
結果の概要

○友愛訪問員が、週1回1時間程度高齢者宅を訪問し話し相手となることで、孤独感の緩和と社会との繋がりづくりを図った。

○訪問員から報告のあった利用者の心身の変化を家族や社協内他部署、地域包括支援センター、ケアマネージャー等に伝え、情報共有や連携を図った。

○訪問員を通じて、熱中症予防や防災・防犯等の注意喚起と情報提供を適宜行った。

○チラシの掲示やXへの投稿、ボランティアコーナーへの協力依頼等、訪問員募集を実施したことで新たに協力員2人が登録となった。



実績等

月	利用者数 (人)	訪問 (回)	友 愛 訪 問 員 連 絡 会		
			回数	日付	内 容
4	6（休止中1）	14	1	10日	新年度体制、活動報告、情報交換等
5	6（休止中1）	12	1	8日	活動報告、情報交換等
6	7	12	0		なし
7	7	15	1	10日	活動報告、情報交換等
8	7	11	0		なし
9	6（休止中1）	11	1	11日	活動報告、情報交換等
10	6（休止中1）	12	0		なし
11	6（休止中1）	9	1	13日	活動報告、情報交換等
12	6（休止中1）	9	0		なし
1	5（休止中1）	7	1	8日	活動報告、情報交換等
2	6（休止中1）	7	0		なし
3	6（休止中1）	10	1	12日	1年の振り返り、活動報告、情報交換等
計	74 (登録延数 83)	129	7		

分析・課題

○訪問員と利用者双方の減少や休止者がいたことにより、訪問回数が大幅に減少した。

○訪問員が高齢化傾向にあり、安全に活動できるよう活動環境（活動地域、利用者の担当数および訪問間隔）や健康面の配慮が必要と考えられる。

○友愛訪問員連絡会は、情報提供だけでなく訪問員が訪問時に抱えている課題を共有し対応について意見を出し合う場となっている。訪問員にとってより有意義な場となるよう研修等も視野に入れて

工夫したい。

○待機利用者5人のマッチングに向けて、新規訪問員の獲得が求められるが、組織内のコーディネーター等とも連携しつつ広報活動も工夫し新たな担い手を発掘したい。

4 企業との協働活動

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	高齢者訪問理美容サービス		市		

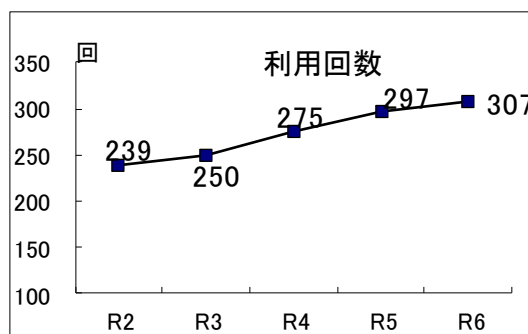
結果の概要

○従事者のサービスの質を高めるため、理容組合・美容組合の会員を対象に、『包括支援センターについて』『認知症のかたへの接し方』等、をテーマに研修会を実施した。美容組合のみ、多摩府中保健所の衛生講習も同日に実施した（保健所の講習は美容組合が調整）。

○サービス対象外である要介護2以下の方からの「実費でも訪問理美容を依頼したい」という問い合わせ

には、以前に引き続き協力理容店と美容組合の「福祉美容サービス」を紹介する等の対応をした。

○ふくしの窓、市報に事業の利用案内を掲載した。



実績等

○利用回数 307回（理容102回／美容205回）

○申請者数 173人（令和5年度176人）

○理美容券を全て使用した人は41人であった（申請者数の約23%）。令和5年度より、1人増加した。

分析・課題

○令和6年度は令和5年度に比べて、申請者数が3人減少し、利用回数は10回増加した。対象外の方からの問い合わせも依然あり、今後も続くと思われる。

○利用者アンケートを実施したところ「認知症が進み、大声を出す。移動が困難など、外出が難しいため、自宅で散髪してもらえるのがとても有難いです」「同じ理容師さんなので、毎回会話を楽しみにしています」等、サービス内容に満足しているという回答が多く、訪問による調髪のニーズの高さがかがえた。

○訪問調髪ニーズが高い一方、協力理容店の減少が課題である。

5 人材育成

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	手話講習会事業		市		○

結果の概要

- 入門・基礎・養成（基本・応用）の全てのクラスを開催した。
- 新型コロナウイルス5類移行に伴い、コロナ禍以前の開催形態に戻した。
 授業回数：全クラス35回
 授業時間：1.5時間
- 1人の講師が年間を通して担当できない場合は複数人体制で実施した。
- 令和7年度手話講習会養成クラス選考試験は41人が申込み、40人が受験し、昼クラス12人・夜クラス14人が合格となった。
- 手話講習会・手話通訳者試験等検討会を立ち上げた。当初全6回の開催を予定していたが、検討項目が多く議論の必要性があったため臨時での1回を含む全7回実施した。
- 手話講習会・手話通訳者試験等検討会にて、養成クラスの昼夜同時開催について議論し、令和7年度から養成基本クラスのみ昼夜同時開催することとなった。
- 手話講習会事業の充実に向けて、他地域の手話講習会事業に関する情報共有を目的に、調布社協の呼びかけで、都内区市町村社協手話講習会に関する情報交換会を開催した。

実績等

○講習課程

全クラス35回の講習会を実施した。

- ア 技術取得 入門・基礎・養成 各35回
- イ 学習発表会 中止
- ウ クラス別講演会 年1回
- エ 全体講演会 開催

○受講者数

	コース名	定員	受講者数(人)	修了者数(人)
火曜日 昼間	入門	30人	30人	26人
	基礎	25人	17人(聴講2人)	15人
	養成基本	20人	12人	12人
金曜日 夜間	入門	30人	26人	21人
	基礎	25人	25人(聴講4人)	17人
	養成応用	15人	9人	8人
合計		145人	119人	99人

○講師会

6月、9月、3月に開催

○世話人会

5月、9月、3月に開催

○講師研修

2月、3月に開催

第1回 第2回	講師のみで実施	カリキュラムについての意見交換
第2回	赤堀仁美 氏 (NPO 法人手話教師センター理事)	「手話奉仕員養成テキスト手話を学ぼう 手話で話そう (全面改訂版)」についての解説

○手話講習会・手話通訳者試験等検討会

任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

	氏名	所属
会長	井村 茂樹	調布市聴覚障害者協会
副会長	掛場 久統	調布市聴覚障害者協会
委員	秋吉 昭良	調布市聴覚障害者協会
委員	井村 あゆみ	調布市聴覚障害者協会
委員	今野 明子	調布市登録手話通訳者の会
委員	西田 晃子	調布市登録手話通訳者の会
委員	田島 誠	調布市社会福祉協議会
委員	大光 加奈子	調布市社会福祉協議会

○検討会開催状況

回数	開催日	内容	参加人数
第1回	令和6年 6月25日	(1)手話講習会・手話通訳者登録選考試験検討会の概要 (2)会長・副会長の選出 (3)令和5年度第3回準備会議体協議内容の振り返り (4)検討テーマの設定及び検討	6人
第2回	令和6年 7月23日	(1)前回の振り返り (2)他地域の手話講習会について (3)「地域で手話通訳登録を目指すための講座（H27年度実施）」について (4)手話通訳者登録選考試験不合格者の受け皿について (5)養成クラスのクラス数について (6)基礎クラスから受講する受講生の取扱いについて	6人
第3回	令和6年 8月21日	(1)前回の振り返り (2)養成クラス昼夜同時開催について (3)登録試験不合格者の受け皿について (4)基礎クラスから受講する受講生の取扱いについて	6人
第4回	令和6年 9月3日	(1)前回の協議内容についての回答 (2)基礎クラスから受講する受講生の取り扱いについて (3)令和7年度講師体制について	6人
第5回	令和6年 10月22日	(1)前回の振り返り (2)世話人の課題と役割について (3)人選方法について	6人
第6回	令和6年	(1)前回の振り返り	6人

	12月17日	(2) 講師・世話人の候補者選出、配置案決定	
第7回	令和7年 1月15日	(1) 前回の振り返り・予算について (2) 全体講演会について (3) 学習発表会について (4) オープンチャットについて (5) 令和7年度に向けて	6人

分析・課題

- 手話普及コースの入門・基礎クラスは幅広い層が参加した。クラス別講演会やろうゲストを招いての授業を通して、障がい理解の促進、受講生の学習意欲の向上や受講生同士の交流を図ることができた。
- 講師の複数体制は多様な手話表現に触れることのできる反面、授業内容や表現が違うことに対して戸惑いの声もあった。
- より一層の手話の普及と手話通訳者の養成を図るため、講師・世話人の確保やクラス編成等の課題について検討を進めていく必要がある。
- 都内区市町村社協手話講習会に関する情報交換会を通じてできたネットワークを活用し、情報交換をすることでより充実した講習会運営を目指していく。
- 手話講習会・手話通訳者試験検討会とその他の会議体が有機的に連携していくために、各会議体の役割や連携方法について検討していく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	研修の場の提供				

結果の概要

- 社会福祉の実践・実習教育として、大学等の各種学校に協力し、実習生の受け入れを行った。

実績等

- 令和6年度実習生受入校・企業（年度当初の受入予定校含む）

No.	学校	人数	No.	学校	人数
1	桜美林大学	1人	8	法政大学	1人
2	日本社会事業大学	1人	9	ルーテル学院大学	1人
3	武蔵野大学	1人	10	調布特別支援学校	19人
4	日本大学	1人	11	慈恵第三看護専門学校	16人
5	立教大学	1人			
6	大妻女子大学	1人			
7	東京都立大学	1人			

※No.1～9は社会福祉士実習、No.10は就業体験、No.11は臨地実習（老年看護学）

※上記以外に、調布市役所が受け入れた社会福祉士実習生1人が社協で実習した。

※介護等体験、中学生の職場体験については、実習依頼なし。

分析・課題

- 社会福祉士資格取得のためのソーシャルワーク実習については、長期分散型の実習とし、8月22日から12月13日までの期間（180時間以上）で行った。また、地域をフィールドとしたソーシャルワ

ークを展開している法人の特性を踏まえ、当事者・地域へのかかわり方など専門性を実践から学ぶ機会を提供した。

- 最終日の振り返りでは、学生がこれまで学んできたことを発表する場を設け、他学生と質疑応答等行い学びを深めた。今後も学生の学習意欲の確認や各大学の指導教員とも連携しながら今後も取り組む必要がある。

6 団体支援等

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	地域福祉活動支援事業			市	

結果の概要

- 地域で活動を行っている団体に対して、活動の充実、発展を支援するための助成事業を実施。
- 申請9団体のうち8団体が書類選考を通過。公開プレゼンテーション等を経て、令和6年度は5団体に対し助成が実施された。
- 年度末の活動報告会では、各団体がお互いの報告を聞き、その後の交流会ではそれぞれの団体が抱える課題等について活発な情報交換が行われた。また過去助成団体で現在も活動を継続・発展させている団体をゲストスピーカーとして呼びし、これまでの活動実績、団体運営の秘訣等をお話いただいた。

実績等

○選考

日 程	令和6年4月27日
参加人数	25人
場所	調布市総合福祉センター2階201～203会議室
内 容	応募団体の公開プレゼンテーションにより、検討評価委員が選考。 5団体に対する助成が決定された。

○助成団体（5団体）

団体	活動内容
調布 LGBT & アライの会	当事者同士、当事者と支援者、支援者同士のセルフヘルプグループとして、より充実した共生社会を目指して活動している。外部講師を招き LGBT 講座を開催したり、お話を定期的に開催したりしている。メールや電話での相談も無料で受け付けている。
おんがく広場	高齢者の集いの場、交流の場を作り、高齢者の孤立化や引きこもりの防止を目的として活動している。西部地域福祉センターや総合福祉センターにて、楽しみながら脳トレや身体活動、ヨガ療法を行っている。
NPO 法人 Smile up	地域の中で誰も一人にしない・孤立しない・生きやすい街になることを目的に、当事者と支援者の心が楽になる為に、講師を招いた勉強会や冊子作成・配布を行う。

介護ラボしゅう	福祉を特別なことではなく身近なものとして、ジブンゴトにできるような啓発活動を目的に令和5年度新たな事業を始めた団体。駅周辺のゴミ拾いをきっかけにした障がいへの理解促進や多世代交流を行っている。
すくすくぱあく	定期的にSNSに子育て情報を投稿している団体。そこでの接点をきっかけとして対面のイベントへの参加を促している。行政の手の届かない部分の子育て支援の拡充を図る。イベントへの助成を行う。

○活動報告会

日 程	令和7年3月22日
参加人数	25人
場 所	調布市総合福祉センター2階201～203会議室
内 容	助成団体5団体がこの1年の活動を報告。 卒業団体がゲストスピーカーとして助成終了後の活動を報告。 後半部分は交流会とし、団体同士の横の関係づくりに役立てた。 最後に検討評価委員により講評をいただいた。

分析・課題

○本助成事業は助成金支援だけではなく、新しい活動を行う団体活動全体の支援を目指している。地域福祉コーディネーターや地域支え合い推進員、また市民活動支援センターと連携して、包括的な支援をしていきたい。

番号	事業名	財源			
		自主 歳	補助	委託	事業
(2)	福祉有償運送に係る補助金交付事業				

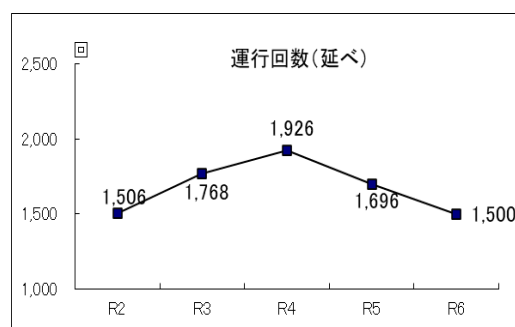
結果の概要

○既存の交通機関を利用して外出することが困難な市民の在宅援護の一助として実施する福祉有償運送を行うNPO法人への運営費補助を行った。

○補助金交付団体と利用状況や運営状況について必要に応じて情報提供した。

○運転者の減少により、運行回数が減った。令和7年3月末で運転手7人、車両4台で運行。

○減少している運転者を確保するため、「ふくしの窓」に募集記事を掲載。その結果、1人応募あり補充につながった。

分析・課題

○運転者の不足・高齢化、それに伴う事故の増加、利用者層の変化等、時代とともに状況も大きく変わってきており、本事業の在り方・今後の方向性について、補助金交付団体や行政を含め検討していく必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	調布市老人クラブ活動支援事業			市	

結果の概要

- 調布シニア広報誌「不老又新」を会員だけではなく、市役所高齢者支援室窓口、各地域福祉センター、老人憩いの家に配架をし、広く市民に周知できている。
- 社協とFC 東京の赤い羽根共同募金の活動に参加し、シニアクラブの襷をすることでその名前を宣伝することができた。
- 新たな教室事業として健康麻雀教室を実施できた。
- 会員の潜在ニーズを探るべく、ソーシャルダンスパーティーを開催。令和7年度以降も継続実施を望む声が多く聞かれた。
- 若い世代を対象に導入を検討している「eスポーツ」について、理事への体験会を開くことができた。
- 会員増強の一環として会員外の市民が参加できる「シニアクラブセミナー」を実施することができた。
- 令和5年度まで教室事業であった「ボッチャ」と「健康吹き矢」の大会を実施することができた。
- 会員の高齢化による事業への参加者減少対策として、輪投げ大会で通常の5m投擲に加え、4m投擲のレーンを増設した。これにより参加者が令和5年度より増加した。
- 令和6年4月現在 単位クラブ数 31クラブ 会員数 1,467人

実績等

1 会議関係	総会	4月19日	57人
	理事会	12回	延125人
	会長会議	2回	52人
	会計監査	4月8日	2人
	総務部会	非定期	延10人
	健康部会	2回	延5人
	文化部会	2回	延4人
2 市老連研修会	新任会長・役員研修会	5月30日	17人
	管外指導者研修会	6月11日	60人
	会計相談会	1月24日	4クラブ
3 友愛実践活動	友愛リーダー会議	4回	延30人
	シニアクラブセミナー	3回	延316人
4 健康推進活動	グラウンド・ゴルフ大会	第27回大会	10月18日 99人
		専門委員会	3回 延32人
	グラウンド・ゴルフ練習	毎週水曜日 調布基地跡地運動場 自由広場	自由参加
	ペタンク大会	第45回大会	中止
		専門委員会	中止
	輪投げ大会	第58回大会	3月14日 164人

		専門委員会	2回	延24人
	みんなの健康教室	教室	3回	延184人
		専門委員会	3回	延21人
	ポッチャ大会	第1回大会	9月5日	106人
		専門委員会	3回	延29人
	健康吹き矢大会	第1回大会	12月24日	55人
		専門委員会	3回	延40人
5 教養文化活動	将棋大会	将棋大会	中止	
		専門委員会	中止	
	囲碁大会	囲碁大会	3月3日	22人
		専門委員会	3回	延15人
	俳句大会	俳句大会	郵送による大会を実施	40人
		専門委員会	4回	延32人
	会員作品展	会員作品展	9月13日～17日	351人
		専門委員会、反省会	3回	延50人
	芸能大会	第54回大会	12月3日	403人
		リーダー会議	1回	4人
	カラオケふれあいの集い	第29回カラオケふれあいの集い	2月3日	308人
		準備委員会	2回	延15人
	不老又新		不老又新夏号、新春号の発行	年2回
	歴史教室	歴史教室	5回	延100人
		専門委員会	3回	延13人
	英語に親しむ会	講義	5回	延7人
	日帰り旅行		中止	
	一泊旅行		中止	
6 女性部	女性部全体会		4月23日	26人
	女性部常任委員会		5回	延72人
	女性部ブロック会議		4回	延146人
	調布よさこい		8月26日	23人
	東老連シニアフェスタ		11月22日	30人
	女性部おたのしみフェスタ		3月18日	140人
7	木島平村交流		中止	
そ	玩具の伝承	調布よさこい	8月24日	13人

その他		福祉まつり	12月8日	12人
		多摩小昔遊び	1月31日	6人
		富士見台小昔遊び	1月23日	4人
		実行委員会	計4回	延43人
	新春のつどい	式典・懇親会	1月30日	77人
8 東京都老人クラブ連合会関係	女性部全体会		5月16日	2人
	東老連輪投げ大会		6月21日	11人
	関東甲信越静岡ブロック老人クラブリーダー研修会		6月27・82日	1人
	東老連レクダンス講習会		7月8日	8人
	東老連手作り品講習会		7月31日	3人
	東老連女性リーダー研修会		不参加	
	東老連ペタンク大会		不参加	
	東老連グラウンド・ゴルフ大会		11月8日	12人
	東京都老人クラブ大会		12月17日	3人
	東老連賀詞交歓会		1月8日	3人
	全国老人クラブ大会		11月20・21日	2人
9 東老連多摩地区第4ブロック関係	多摩地区第4ブロック女性部推進リーダー会議		不参加	
	多摩地区第4ブロック会議		7月29日	5人
	多摩地区第4ブロック軽スポーツ交流会代表者会議		7月17日	2人
	多摩地区第4ブロック健康教室事業		3月19日	51人
	多摩地区第4ブロック女性部会連絡会議		不参加	
	多摩地区第4ブロック軽スポーツ交流会輪投げ大会		10月30日	14人
	多摩地区第4ブロックシニアフェスタ練習		1回	30人

分析・課題

- 会員減少の原因の一つである会計処理問題への対策として、「会計相談会」を実施してきたが、クラブの運営に関する相談も多く、対応できる役員を増員する必要がある。またこの相談会に限らず、個別相談については引き続き応じていく。
- 会員が減少・高齢化しているクラブが増加しており、令和5年度から比べて休会していたクラブも含め、2クラブが解散した。また令和6年度中も活動を維持できないクラブがあり、今後クラブ数、会員数が一段と減少する可能性がある。若い会員を増やすためにも、引き続きeスポーツや麻雀教室など、若年高齢者の人気となりえる事業を実施したい。
- 広報誌「不老又新」やホームページ等、従来の広報媒体に加え、若い世代の会員獲得のため今後はSNSの活用も検討したい。

○リーダー不在で休会となっているクラブ、高齢化に伴い活動が少なくなっているクラブは、同じ地区協議会内で協力し活動の安定化を進めている。

○「老人」という言葉に抵抗を感じている方が一定数いることに鑑み、名称を「調布市老人クラブ連合会」から「調布市シニアクラブ連合会」へ変更した。今後積極的に活用していきたい。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	調布市障害者（児）団体連合会への支援				

結果の概要

○評議員会や交流会、合同会議について内容を検討したうえで、全ての行事を開催した。

実績等

行事	実施日	実施回数	参加者	内容
会計監査	4月30日	年1回	監査2人 事務局2人	令和5年度会計監査
総会	5月24日	年1回	評議員12人 事務局4人	令和5年度事業報告及び決算 令和6年度事業計画及び予算
評議員会	○第1回 5月24日 ○第2回 11月6日	年2回	○第1回 評議員12人 事務局4人 ○第2回 評議員8人 事務局4人	○第1回 年間行事について ○第2回 交流会の振り返りと合同会議について
交流会	10月21日	年1回	加盟団体11人 その他1人 来賓3人 事務局4人	○×ゲーム、ビンゴゲーム
研修会	2月21日	年1回	加盟団体12人 その他当事者2人 総合防災安全課2人 調布警察署1人 障害福祉課1人 交通対策課1人	「闇バイトについて」「障がい者の安全な道路利用について」

分析・課題

○交流会の開催は、同連合会加盟4団体相互の障がい理解を深める機会となっている。

○例年、関係機関と障がい当事者の相互理解を深めるために合同会議を開催していたが、令和6年度は学びを通じて障がい当事者同士が意見交換をする研修会形式で開催した。参加者を連合会加盟団体の会員に限定せず、非会員の障がい当事者も参加できるようにした結果、闇バイトや道路交通法について

での学習機会を広く提供できたとともに、障がい者団体についての普及啓発の場となった。テーマによっては、参加対象を広げて障がい当事者の横のつながりを作り、互いの障がいを理解し学びあえる機会や障がい者団体の活動を普及啓発していくことを検討する。

番号	事業名	財源			
		自主 基	補助 市	委託	事業
(5)	福祉団体等事業助成				

結果の概要

○障がい者団体や高齢者団体等の会運営や事業に対し助成を行い、団体の活動を支援した。

実績等

○団体助成、大会助成

No.	団 体 名	助 成 内 容	助成額
1	調布市原爆被害者の会	会運営費・平和大会	20 万円
2	調布市遺族厚生会	会運営費・平和祈念祭	28 万円
3	共同募金調布地区協力会	会運営費	20 万円

番号	事業名	財源			
(6)	機材の貸出	自主	補助	委託	事業

結果の概要

○ボランティアグループ、福祉施設、公的機関等の事業に対して、テント、パネル、スクリーン等の社協機材の貸出を行った。

○故障等への対応、貸出のルールの特化、物品ごとの色分け等、工夫を行ったことで、予約の重複等、大きな問題はなく貸出ができた。

実績等

○貸出件数一覧

社協機材	貸出件数	社協機材	貸出件数	社協機材	貸出件数
テント（大）	108 件	延長コード	92 件	書画カメラ	22 件
テント（小）	48 件	移動式赤ちゃんの駅	7 件	パネルフック	2 件
テントウェイト	41 件	ポップコーン機	32 件	ビンゴ抽選機	9 件
折りたたみ式テント	31 件	ブルーシート	12 件	拡声器	6 件
折りたたみ式テント用テントウェイト	30 件	ポッチャボール	25 件	折りたたみ椅子	13 件
Blu-ray プレイヤー	23 件	CD ラジカセ	140 件	スクリーン	180 件
ワイヤレスアンプ	129 件	有線マイク	24 件	輪投げセット	13 件

プロジェクター	236 件	パネル	10 件	譜面台	32 件
冷水用ジャー	5 件	パネル足	8 件	合 計	1278 件

分析・課題

- 福祉活動の充実を側面から支援するため、貸出ルールの徹底及び貸出物品を使いやすく整備する。
- デスクネットの貸出予約ページを整備し、予約の重複等問題が起きないように徹底したい。

番号	事業名	財源			
(7)	後援・共催事業	自主	補助	委託	事業

結果の概要

- 市内各種団体が福祉活動を実施するにあたり、依頼に応じて後援を行った。

実績等

○後援事業一覧

No.	事業名	主催団体
1	劇団芸優座 第十一回春の公演	株式会社 劇団芸優座
2	第19回 調布フィーリングアーツ ダンス&バレエライブ	調布フィーリングアーツ
3	第10回調布市伝統文化交流会	調布伝統文化伝承の会
4	第53回東京ブロック大会調布大会	公益社団法人調布青年会議所
5	上野千鶴子氏講演会「女性はなぜ生きづらいか： 支援の脱心理主義化へ向けて」	社会福祉法人 巢立ち会
6	第47回住宅デー	東京土建一般労働組合調布支部
7	2024年度無料法律相談会	弁護士法人多摩パブリック法律事務所
8	手作り市 2024 Summer	手作り市
9	地域をつなぐわいわいフェスタ	すくすくばあく
10	MOA美術館調布児童作品展	MOA美術館調布児童作品展実行委員会
11	合同企業説明会	パーソルテンプスタッフ株式会社
12	第35回（令和6年度）福祉講演会	公益財団法人調布ゆうあい福祉公社
13	笑って学ぼう「音楽レクリエーションショーケース」	一般社団法人 日本音楽レ・クリエーション指導協会
14	調布さくらウインドオーケストラ 第7回定期演奏会	調布さくらウインドオーケストラ
15	春の手作り市	手作り市
16	福祉映画上映会「ぼくとパパ、約束の週末」	調布市福祉作業所等連絡会
17	第9回 調和 SHC フェスタ	NP0 法人調布 SHC 倶楽部
18	東日本大震災慰霊祭 2025～あの日を忘れない。～	東日本大震災慰霊祭 2025 実行委員会
19	調布市聴覚障害者協会	
20	第19回深大寺短編恋愛小説「深大寺恋物語」公募事業	深大寺短編恋愛小説実行委員会
合 計		20 件

○共催事業一覧

No.	事業名	主催団体
1	高齢者・障害者のための成年後見相談会	公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート東京支部
2	北ノ台ふれあい朝市	北ノ台まちづくりネットワーク
3	杜のハーモニー♪設立 15 周年記念！サックス演奏会♪	杜のハーモニー♪
4	高次脳機能障害とともに奏でる 春の多摩マインドフルコンサート 2025	東京慈恵会医科大学付属第三病院リハビリテーション科
合 計		4 件

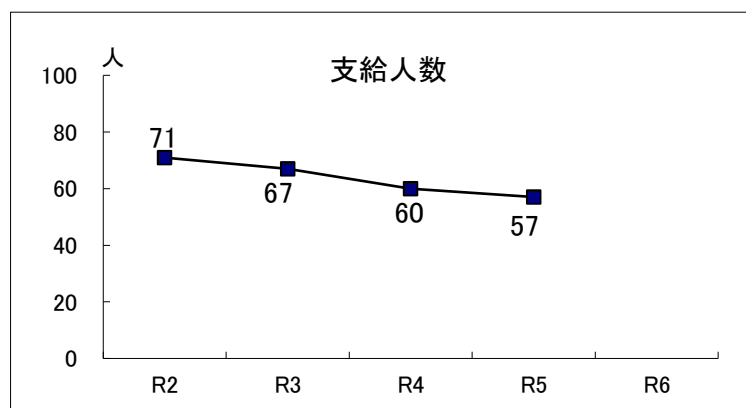
番号	事業名	財源			
(8)	健康支援金	自主	補助	委託	事業
			市総		

結果の概要

○健康支援金給付事業事務取扱要領に基づき、被爆者健康手帳の交付を受けている方に健康支援金を口座振込みにより給付し、福祉の増進を図った。

実績等

○支給人数50人



番号	事業名	財源			
(9)	中央競馬馬主社会福祉財団助成事業	自主	補助	委託	事業

結果の概要

○平成24年度より中央競馬馬主社会福祉財団の公益財団法人の移行に伴い、NPO法人に関して直接助成が可能となった。引き続き無認可の施設に関しては社協からの申請・管理となる。

○NPO法人が申請を行う場合、当該施設の所在地域の社協の推薦状が必要となり、令和6年度は申請0件。

○事業総額費の70%を財団が助成を行い、30%は施設の自己負担分となる。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(10)	招待事業				

結果の概要

- 企業、奉仕団体より、障がい者や高齢者、事業協力者に対する招待をいただき、社協が窓口となって、イベント等に招待している。

実績等

- 調布市花火大会への招待

東京調布ライオンズクラブよりチケットのご寄付をいただいた。

(招待団体)

ドリームボックス下石原、社会福祉法人調布を耕す会 しごと場大好き、クッキングハウス

調布市聴覚障害者協会、NPO 法人調布心身障害児・者親の会、ぴいす、ポピーの家

調布市社会福祉協議会（調布市希望の家、障がい者支援係）、調布ドリーム、クレヨンキッズ

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(11)	調布市いきいきクラブ調理運営協議会事務局			市	○

結果の概要

- 通所介護アイビーの利用者に昼食を提供する調理ボランティア団体「調布市いきいきクラブ調理運営協議会（以下「協議会」）」の事務局として支援した。
- 台風や大雨の影響により、調理活動は令和6年8月16日、令和6年9月2日は活動を中止した。実施回数は延べ223回。ブロック長会は毎月1回開催したため、実施回数は12回。
- ボランティアの負担軽減や時間短縮のため、使い捨てのプラスチック容器で昼食を提供した。
- いただきますの前のタイミングでボランティアによるメニューの説明をした。調理する際に工夫した点を伝えたり、利用者からボランティアに質問をしたり次回メニューの希望を募る等交流する機会を提供した。
- 新規登録者は5人。会員数60人・長期欠席者4人（令和7年3月31日現在）。
- 会員に1回500円の謝礼金の支払いを行った。延べ981人。

実績等

	項目	回数	内容
会議 関係	総会	1回	令和5年度決算・令和6年度予算等
	役員会	12/12回	活動内容（献立等）の決定・運営方法について
	ブロック長会	12/12回	材料費の支給・情報交換・懸案事項の検討
	監査会	1回	令和5年度決算監査
研修	研修会	2/2回	・衛生管理について ・高齢期の食事について ・アイビー利用者の食形態や調理方法について意見交換会

	見学会	3回	しばさき彩ステーション・もりもりサロン見学
活動	調理活動	223回	通所介護「アイビー」利用者の昼食作り
	大掃除	2/2回	各ブロック活動日に分担した担当箇所を掃除した。
	細菌検査	12回	ボランティアは月1回細菌検体を提出
	避難訓練	1回	総会後に実施
広報	ボランティア募集	10回	調布市社会福祉協議会ホームページ掲載1回 高齢者会食事業ボランティア勉強会1回 電話訪問・友愛訪問員、ふれあい給食協力員合同研修会1回 市報1回 ふくしの窓3回 ウィンドウ美術館（総合福祉センター1階窓）1回 調布FM出演2回

分析・課題

- 第4月曜日の4ブロックと第1金曜日の17ブロックは全員が欠員となっており、他ブロックからのボランティアによる応援にて活動を継続した。欠員ブロックに重複して活動をする協力してくださる方が複数人いる。引き続き、欠員ブロックへの協力を要請していくと同時に、ボランティア募集の広報活動を強化していく。
- 見学会は、新型コロナウイルスの影響で中止していたが、令和6年度より再開した。他の団体の調理活動に刺激を受け、ボランティア内のコミュニケーションの場となった。
- 研修会は「高齢期の食事を学ぼう」という内容の講習会とボランティア説明会を兼ねて実施した。キューピー株式会社の講師を招いた講習会と、ボランティア説明会を同時開催したことでボランティアの意識向上と新規登録者の獲得につながった。
- 第5週目の協力に関しては、ボランティアの過度な負担とならないよう、当面は見合わせていく。
- 通所介護サービス「アイビー」で家族交流会・試食会を実施した際、ボランティアによる昼食を利用者の家族にも提供し、試食を行った。また家族とも交流ができるようメニュー紹介をする機会を提供した。
- 他ブロックのボランティア同士の交流の機会を提供し、欠員時等助け合える環境を引き続き整えていく。
- 肉に赤身が残っていたことや髪の毛の混入していたことがあったため、美味しさに加え安全面にも配慮していただけるよう、引き続き周知、徹底をしていく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(12)	地域福祉コーディネーター（コミュニティソーシャルワーカー）（重点項目）		市	市	

結果の概要

- 以下の福祉圏域において制度の狭間の課題等、様々な相談を受けるとともに、各種団体・機関と連携しながら、支え合いの仕組みづくりを目指した。

福祉圏域 (小学校区)	主な担当地域
緑ヶ丘 滝坂	仙川町1～3丁目、緑ヶ丘1・2丁目、 菊野台1丁目の一部、 東つつじヶ丘1～2丁目・3丁目の一部、 西つつじヶ丘1～4丁目の一部、若葉町1丁目の一部
若葉 調和	東つつじヶ丘3丁目の一部、 西つつじヶ丘3・4丁目の一部、入間町1～3丁目、 若葉町1丁目の一部・2・3丁目、国領町8丁目の一部、 菊野台1丁目の一部・2・3丁目
上ノ原 柏野	佐須町1丁目の一部・2丁目・3丁目の一部・4・5丁目、 柴崎1・2丁目、菊野台1丁目の一部、 西つつじヶ丘1丁目の一部・2丁目の一部、 調布ヶ丘3丁目の一部、深大寺元町2丁目の一部、 深大寺東町2丁目の一部・3・4丁目、 深大寺南町1～3丁目の一部・5丁目の一部
北ノ台 深大寺	深大寺北町1～7丁目、佐須町1丁目の一部、 深大寺元町2丁目の一部・3～5丁目、 深大寺東町1丁目・2丁目の一部・5～8丁目、 深大寺南町1～3丁目の一部・4丁目・5丁目の一部
第二 八雲台 国領	佐須町3丁目の一部、調布ヶ丘2丁目・3丁目の一部、 八雲台1・2丁目、国領町1～5丁目、8丁目の一部、 布田2・3丁目
染地 杉森 布田	国領町6・7丁目、染地1～3丁目、 布田5・6丁目、多摩川6・7丁目
第一 富士見台 多摩川	富士見町2丁目の一部、下石原1～3丁目の一部、 小島町1～3丁目、多摩川1～5丁目、布田1丁目・4丁目、 調布ヶ丘1丁目・3丁目の一部・4丁目、深大寺元町1丁目
第三 石原 飛田給	飛田給1～3丁目、上石原1～3丁目、富士見町1丁目、2丁目の一部・3～4丁目、 野水1・2丁目、西町

実績等

<共通>

- 重層的支援体制整備事業の実施において、「多機関協働事業」、「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」、「参加支援事業」、「地域づくり事業」を通じて、専門職や関係機関との連携及び住民主体の地域づくりが促進される環境整備を行った。
- 「多機関協働事業」において、重層的支援体制整備事業における支援会議2回した。また、福祉圏域別専門職等ネットワーク会議及び相談支援機関等との情報交換会を実施した。会議等により、多様な分野の相談支援者同士が顔の見える関係構築するとともに、複合化・複雑化した支援ニーズを抱える世帯への支援において、包括的に支援するための多機関による連携体制の強化を図った。
- 「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」の実施において、相談支援における訪問や地域のイベン

- ト・会議等に参加し、個別支援ニーズや地域生活課題を把握するとともに、当事者に対して丁寧な働きかけ、関係性構築、伴走支援を行った。
- 「参加支援事業」の実施において、ひきこもり・生きづらさ等を抱える当事者が安心して安全に過ごせる場が地域の中にあることの必要性を周知した。
 - 「地域づくり事業」において、地域づくり事業勉強会「地域で育てるこどものみらい@調布」を実施した。東京都策定の「こども未来アクション 2024」、調布市の支援者と活動者の講話を聞き、子ども若者や保護者の置かれている現状を共有した上でディスカッションを行った。参加者全員で学ぶ場となったことで、地域でできることは何かを考え、子どもから高齢者まで世代や属性を超えて助け合える地域づくりについて考える1つの契機となった。
- また、ルーテル学院大学並びに近隣4市・社協が主催する「令和6年度地域福祉ファシリテーター養成講座」を5人が受講した。講座やグループワーク、フィールドワーク等の中で、受講生に対して働きかけやフォローを行ったとともに、講座修了後のフォローアップのため、お住まいの担当地域のコーディネーターとつながり、協働するための情報共有を行った。
- 令和5年度実施の「防災×地域づくり」をテーマとした勉強会でつながった住民に呼びかけ、地域福祉ファシリテーター養成講座修了生（調布1期生）企画の「防災食の体験会」を実施した。引き続き地域づくりにつながるための働きかけも継続して行った。
 - 新たに多世代が集う場を立ち上げようとする団体や、活動を広げていこうとする団体の取組の後押しとなるよう、「地域づくり事業」補助金の運用を開始し、新規1団体、拡充1団体が利用した。
 - 地域福祉コーディネーターの取組や地域活動の紹介、地域生活課題等の啓発を発信する機会として、地域のイベントや取組等へのアウトリーチによる対話の機会のほかに、広報誌ふくしの窓や SNS（Instagram）等の様々な媒体を活用し、新たな層の担い手とのつながりの創出や多様な支援ニーズを抱える世帯への社会参加を促す取組の創出に向けて、取り組んだ。
 - ひきこもり・生きづらさ等に関する取組「調布やまぼうしの会（ひきこもり家族会）」、「ちょうふのこやど（当事者会）」、「調布女子会 のまま（女性自認の方の当事者会）」について、継続した運営支援を行った。「調布女子会のみまま」は、一般社団法人 UX 会議と連携し「ひきこもり女子会 in 調布」を開催した。調布市に限らず、近隣市区や他県からも合わせて約 50 人の参加があった。参加者アンケートからも悩みを共有する機会や気持ちが前向きとなる場であったという声があり、他団体と連携することで多様なニーズに対応できる場となった。
 - 子ども食堂やフードパントリー等を開催する団体数が 30 を超えた。実施主体も住民だけでなく、企業や飲食店、ボランティア団体が実施するなど多様化し、地域への発信や住民へのつながりを持てるよう支援した。また継続した運営支援をするとともに、寄付の取りまとめや子ども食堂同士の情報交換の場を設けた。
 - 調布市主催のフードドライブにおいて、調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会と連携・協働し、日頃つながりのある子ども食堂や地域団体へ取組の目的や公益活動の推進に向けた働きかけを行った。
 - 個別支援および地域支援に関連する研修に参加するとともに、室田信一氏（東京都立大学准教授）によるスーパービジョン（指導・助言等）を受けて、職員の資質向上に努めた。

○実相談件数

福祉圏域（小学校区）	個別支援	地域支援	合 計
緑ヶ丘・滝坂	45	33	78
若葉・調和	30	54	84
上ノ原・柏野	56	66	122

北ノ台・深大寺	80	46	126
第二・八雲台・国領	58	33	91
染地・杉森・布田	53	36	89
第一・富士見台・多摩川	47	40	87
第三・石原・飛田給	52	30	82
全域・複数圏域		66	66
合 計	421	404	825

○延べ活動件数（行動区分）

福祉圏域 (小学校区)	訪問	来所	電話	メール	オン ライン	その他	合計
緑ヶ丘・滝坂	304	63	394	307	7	281	1,356
若葉・調和	186	85	261	191	8	197	928
上ノ原・柏野	363	107	376	217	11	283	1,357
北ノ台・深大寺	151	89	461	385	24	172	1,282
第二・八雲台・国領	305	94	289	170	4	106	968
染地・杉森・布田	336	101	323	278	23	351	1,412
第一・富士見台・多摩川	403	143	451	241	23	238	1,499
第三・石原・飛田給	473	59	292	312	24	145	1,305
合 計	2,521	741	2,847	2,101	124	1,773	10,107

分析・課題

- 「地域づくり事業」において、令和7年度も市全域の視点を大切に、調布市でどのような地域づくりがいま求められ、そして目指していくのかを地域住民や関係機関とともに考え、住民主体の交流や学びの機会の増加を目指したい。
- 「参加支援事業」において、子どもの体験の機会や農福連携、中間就労等、様々な社会参加へのアプローチに向けて、地域生活課題や個人の困りごと等のニーズとマッチングできるよう地域住民やボランティア、関係機関、企業等に働きかけていきたい。
- アウトリーチ（訪問）を通して、個別の訪問相談や地域のイベント、地域活動等へ積極的に向かうことで、支援者と関係が途切れやすい相談者への伴走的な相談支援、地域住民等からの情報提供、新規相談を受けることにつながった。
- 重層的支援体制整備事業の実施において、既存の制度だけでは解決が困難な状態や複合的な地域生活課題が多く含まれている相談に対して、多機関連携の支援に向けたネットワーク構築、複合化・複雑化した支援ニーズに対応するため、地域づくり事業や参加支援事業において多分野の専門職や関係機関が連携し支援に取り組めるようにネットワークの構築に努める必要がある。
- 情報発信について、SNSをより活用していくとともにその成果を把握していく。つながりの創出だけでなく、生きづらさを抱える方への発信や情報が届きにくい地域住民に向けた伝達手段も検討していく必要がある。
- 第6次調布市地域福祉活動計画の推進にあたり、8つの福祉圏域ごとで地域づくりを進めるとともに、市全域における個別課題ニーズに対する課題解決に向けた取組や地域活動が充実するための仕組みづくりを地域住民や関係者とともに検討していきたい。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(13)	ちょうふ地域福祉フォーラム			市	

結果の概要

- 第6次調布市地域福祉活動計画の若葉・調和小地域の計画において取組内容となっており、また地域住民から「外国ルーツのある方にどのように声をかけてよいかからない」等といった声を受け、「やさしい日本語ってなに？～外国ルーツのある方と話してみよう～」を開催した。
- 開催にあたり、調布市国際交流センターや自治会、外国ルーツのある方で構成される NPO 法人ニッポンベンガルフレンズサークルへ相談・協力を依頼。ちょうふ地域福祉フォーラム開催後の外国ルーツのある方との交流や地域づくりをするための今後の連携を意識した。
- ちょうふ地域福祉フォーラム参加者の外国ルーツのある参加者から、イベントチラシ等を見ても理解できない単語や言い回しが多く内容がわからないとの声があがり、やさしい日本語でのコミュニケーションの必要性を感じることができた。

実績等

タイトル	やさしい日本語ってなに？～外国ルーツのある方と話してみよう～
日にち	3月16日
会場	神代団地 第一集会所
内容	(1) 講座「やさしい日本語とは」 講師 やさしい日本語アドバイザー 永田 くみ氏 (2) 交流会「チャイを飲みながら、やさしい日本語で話してみよう」
参加者	50人

分析・課題

- 外国ルーツのある方へどのように声をかけてよいかかわからないと話していた地域住民が参加してくれたことで、もともと興味・関心の度合いが高く自分事として捉えていて、効果的に普及啓発することができた。
- 広報段階での関心度が高く、都合が合わず参加できないが大変関心があるといった声が多数寄せられた。市内での関心の高さが伺えるため、今後の発展的な広がりを地域住民や関係機関とともに進めていきたい。
- 今回のちょうふ地域福祉フォーラムには、複数名の自治会関係者が参加した。自治会発行物等をやさしい日本語を使って届けるような広報づくりを進めていき、地域の繋がりづくりがより続くような仕組み及び取組を考えていきたい。
- 外国ルーツのある方には、日本への居住歴や背景等により、ひらがな等やさしい日本語が全く分からない方もいる。そういった方達も地域で孤立しないような地域づくりを考えていく必要がある。